令和３年度第1回大阪府日本万国博覧会記念公園運営審議会の振り返り

資料３

１．キーワードは“つながる”

地域の人とつながる、ビジターとつながる、他の文化施設とつながる、海外の他の公園とつながる

来園してもつながる、来園しなくてもつながる（AIやDXの活用）

どんどんつながってファンづくりをしていく

２．視点・論点

（１）SDGs

～地球全体とつながる、持続可能な“未来”とつながる～

・「人類の調和と進歩」について

・“未来を考える場所”として、子どもを主役にした取組みの検討

・活性化のベースである“みどりの空間”の発信と活用

・2025大阪・関西万博とのつなぎこみ

（２）ダイバーシティ＆インクルージョン

～障がい者、LGBT、様々な国や人種の方々とつながる～

・身長制限のないジェットコースター

・ポストコロナを見据えた“普段使い”の観点

・双方向のコミュニケーション

・ユニークヴェニューや上質なインバウンド観光サービスの創出の検討

（３）文化・スポーツの拠点

～レガシーを中心に、国内外の文化施設やスポーツ施設とつながる～

・府民のみならず全国から来園してもらう仕掛けづくりとしてのスポーツ・エンターテイメント

・世界各地のアリーナと周辺施設を参考に、新しい文化・観光拠点の一つの核に

・他の美術館との連携や、公園の魅力を表現する手法としてのアートの活用

（４）DXの活用

～来園してもつながり、来園しなくてもつながる～

・単なるデジタル化ではなく、大きなしつらえでDXの導入を議論

・多様なニーズに対する、ハード・ソフト両面でのクリエイティブな対応

・公園の維持管理等へのDX導入

（５）常に更新され、生きている公園

～人類の創造力の源泉である生命力と感性とつながる～

・大胆に実験を繰り返し、常に更新して生きているのが万博公園の魅力

・実験都市としての、次世代のコミュニケーションの場づくり

・過去の記憶にとどまらず、今なお生き続け、さらに先の未来を導く、70年万博のテーマ